



旭山記念公園情報2021年6月

●噴水運転停止中

噴水は、コロナ禍の状況を鑑み、ライトアップも含め当面運転を停止します。ご了承ください。

●第2駐車場一部立入制限

擁壁崩落場所の土留めのため、南側の列の駐車スペースが当面利用できなくなっております。

マルハナバチ

マルハナバチは身近なハチですが、意外と知られていません。そこで今回はマルハナバチの特集です。

マルハナバチは全体に毛深く丸っこいハチの仲間です。♀(女王蜂)、♂、はたらき蜂でからだの色合いや大きさが違います。地面の穴や木のうろ、人工物の隙間に巣を作ります。春先から秋まで見られます。花を訪れ、植物にとっては受粉のために欠かせない生き物です。

◎マルハナバチはめったに人を刺さない・・・性格は穏やかで手で払うくらいならめったに人を刺すことはありません。ただしごく稀に刺すこともあるようなので気を付けるに越したことはありません。

◎クマバチ(クマンバチ)ではない・・・マルハナバチをクマバチ・クマンバチという人がいますが別物で、クマバチは札幌周辺には生息していません。◎旭山では現在6種類のマルハナバチが記録されています。

エゾオオマルハナバチ



旭山で最も多く見られる。丸っこくて大きい。春先から秋まで長く見られる。

エゾコマルハナバチ (写真は雄)



雄はレモンイエローが印象的。女王と働き蜂はエゾオオマルハナバチに似る。

エソトラマルハナバチ



腹部が虎のように縞模様に見える。顔が長い。旭山では少ない。

アカマルハナバチ



体は赤茶色で分かりやすい。他の種より早く盛夏には見られなくなる。

ハイイロマルハナバチの1種



ハイイロマルハナバチとニセハイイロマルハナバチの識別はプロでも難しい。

セイウオオマルハナバチ



農業受粉目的の人為的移入種。近年旭山でも増えている。白いお尻が特徴。

旭山通信 ～レストハウスより 2021年6月

旭山記念公園レストハウス「ぽるく」は4月24日オープン。お陰様で1か月が過ぎました。何度も足を運んでくれるお客様もいらっしゃいます。本当にありがとうございます。

今回は少し「ぽるく」を運営する私たち特定非営利活動法人「手と手」のお話をさせて下さい。「手と手」は、障がいや年齢、体力などの問題で一般就労が困難な方の働く場所として、「就労支援センター手と手」(農作業)、「就労支援センターしずく」(木工、工作、調理など)の2事業所を開設しており、また、「障がい福祉研修センターころ」では、車いすや視覚障がいに関する研修事業を行っています。

「手と手」は、1990年ボランティアサークル手と手としてスタートし、さっぽろ雪まつりのボランティア活動をしていました。「障がいのある方の社会参加を大切に」を理念とし、その他にも、ふれあいキャンプや外出支援など様々なボランティア活動をしてきました。就労も社会参加の大切な1つですが、活動を進めていく中で、障がいのある方の就労は大変難しいと感じ、2009年に就労継続支援事業所を開設しました。

旭山記念公園レストハウス「ぽるく」では、道内の作家さんの作品や、「手と手」や「しずく」で作成した物も販売しています。緊急事態宣言下の今ショップは閉鎖中ですが、再開後は是非遊びに来てください。



旭山野鳥メモ② アオバト

アオバト Japanese Green Pigeon *Treron sieboldii* ハト目ハト科
夏鳥。雄は翼にえんじ色の部分があり雌にはない。旭山では6月中旬になると桜の実を食べるアオバトが頻りにやって来る場所がある。

アオバトの鳴き声は、「オー アーオー」と表記されるが鳴き声が名前の由来ではない。「青菜に塩」の青と同じで日本で昔緑色のものを「あお」と呼びならわしていた名残り(アオジもそう)。嘴はそれこそ青くて印象的。

オカリナの音にも喩えられるその鳴き声は「悲しい声」というイメージが広まっているが、野鳥観察会でアオバトの声を「悲しい」「楽しい」どちらに感じるか質問すると、「悲しい」7:3「楽しい」、意外と「楽しい」が多い。慣れると楽し気に聞こえるのか？

山の鳥だが海水を飲みに来る行動が知られる。小樽市張碓海岸はその場所のひとつ、小樽市の鳥にも指定されており、国道5号線沿いにかつてはアオバトを説明する看板が掲げられていたが今は撤去されている。石狩市にもアオバトが水を飲みに来る場所があり近年ではそちらの方に愛鳥家が集まっているらしい。

アオバトは撮影しやすい海辺で撮った写真を多く見るが、緑に囲まれた写真が比較的容易に撮影できる旭山記念公園は貴重な場所かもしれない。桜の実を食べに来る6月は絶好のチャンスだ。



6月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★オオルリ＝5月下旬にはつり橋周辺で出会う機会が多かったですが、6月に入りそこを含め出会う機会が少なくなってきました。

★キビタキ＝今年も園内数か所で囀りを聞くことができ姿も見られます。

★クロツグミ＝6月に入って囀りを聞く機会が減りました。

★ウグイス＝園内各所で「ホーホケキョ」と聞こえてきます。

★クマゲラ＝園内でしばしば見られています。

★アカゲラ＝今年も森の家近くの巣から幼鳥の声が聞こえてきています。

★シマエナガ＝幼鳥も巣立ちそろそろ出会う機会が少なくなる頃です。



旭山記念公園見どころマップ2021年6月



公式サイト

「アカゲラ通信」 第92号 2021(令和3)年6月11日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>

〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351